

## 島根県出雲市の取り組み紹介 在宅医療・介護連携等の取り組み

### ○出雲市の状況

出雲市は、人口174,957人、高齢化率28.6%(平成28年3月現在)で島根県東部に位置しています。

### ○事業の概要

- ・平成27年度から在宅医療・介護連携の取り組みを開始しています。
- ・二次医療圏域は出雲市のみで構成されています。

### ○実施状況(主なもの)

- ・市民3,000人を対象にした意識調査や病院、診療所、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所等約100箇所を対象にしたヒアリング調査を行い、その結果を踏まえた施策として、在宅医療・介護サービスが不十分な地域の体制構築等を図っています。
- ・全県を結ぶヘルスケアのためのネットワークとして島根県が整備したまめネット(しまね医療情報ネットワーク)を活用した情報共有、連携の推進を進めています。
- ・多職種連携の取り組みとして、研修会、意見交換会、在宅医療推進のための事例検討会、住民への普及啓発を目的とした座談会、講演会等を市として実施しているほか、各種団体の取り組みを把握し、連携を図っています。
- ・平成27年度から、出雲市医師会により出雲市認知症サポート医連絡会が組織され、連絡会、研修会等を実施するなど、認知症サポート医の組織化を図っています。

### ○「まめネット(しまね医療情報ネットワーク)」とは



- ・県民へのより安全で安心な医療サービスを提供することを目的に、本人の同意の下、診療情報・介護情報を参加機関相互で共有する仕組みです。
- ・平成29年2月末現在、登録医療機関数は777件(内出雲市383件)、同意カード発行枚数は36,214枚(内出雲市14,266枚)となっています(島根県ホームページで確認)。

### 【市全体をカバーする重層的ケアによる展開】

- ・政策形成、施策の総合調整は市全域で、地域ケア会議、ケアマネ支援等は旧自治体単位(7地域)で、サービス基盤の整備は中学校区単位(15校区)で、見守り、生きがい活動、介護予防は、コミュニティセンター単位(43地区)でというように、よりきめ細かい対応が必要なものを小地域で、統一的な対応が必要なものを市全域でカバーする「重層的ケア」を行っています。このことが、在宅療養を地域住民が相互に支え合う体制構築等に繋がっています。